

部 会 報 告

2022 年 ISO/TC 195 建設用機械及び装置委員会 活動報告

標準部会

先月号で報告した通り、2020年3月からパンデミックの影響によりほぼ全てのISO国際会議がバーチャル開催を余儀なくされた。ISO/TMBによる制限は2022年5月に解除され、6月以降は各TC・SCの判断で対面、バーチャル又はハイブリッドによる開催を選択できるようになったが、依然として国・地域間の

移動が制限される状況が2022年末まで続いた。この為、ISO/TC 127と同様、ISO/TC 195においても2022年3月～2023年2月までに計22件のTC・SC総会及び傘下AG・WG会議が全てISO Zoom上で開催され、日本から延べ49名がWeb参加したので概要を報告する（下表参照）。

日 時	会 議 名	議長国／ コンビナー国	日本からの 参加人数
3月1日（火）	SC 3/WG 1（穿孔及び基礎工用機械－用語）	フランス	2
3月8日（火）～ 10日（木）	WG 9（自走式道路建設用機械－安全要求事項）	ドイツ	1
4月6日（水）	SC 3/WG 1（穿孔及び基礎工用機械－用語）	フランス	2
5月16日（月）	SC 3/WG 1（穿孔及び基礎工用機械－用語）	フランス	2
5月18日（水）	SC 3/WG 1（穿孔及び基礎工用機械－用語）	フランス	2
5月20日（金）	SC 1/WG 4（トラックミキサー安全要求）	日本	3
6月13日（月）	AG 1（諮問グループ）	ドイツ	2
7月27日（水）	SC 1/WG 9（セルフローディングモバイルコンクリートミキサー－安全要求事項）	イタリア	2
7月28日（木）	WG 9（自走式道路建設用機械－安全要求事項）	ドイツ	1
9月8日（木）	WG 2（建設用機械及び装置－用語）	ドイツ	1
9月13日（火）	SC 2/WG 1（道路作業機械－冬期保守用機器）	ドイツ	2
9月14日（水）	SC 3/WG 1（穿孔及び基礎工用機械－用語）	フランス	2
9月15日（木）	SC 2/WG 2（道路作業機械－路面清掃車）	ドイツ	3
9月19日（月）	WG 5（道路建設及び維持用機器－用語及び商業仕様）	ドイツ	1
9月20日（火）	SC 1（コンクリート施工用機械及び装置）総会	日本	5
9月21日（水）	SC 3（穿孔及び基礎工用機械）総会	フランス	2
9月22日（木）	TC 195（建設用機械及び装置）総会	中国	4
10月18日（火）	SC 2/WG 2（道路作業機械－路面清掃車）	ドイツ	3
11月28日（月）	SC 2/WG 2（道路作業機械－路面清掃車）	ドイツ	3
1月17日（火）	SC 2/WG 1（道路作業機械－冬期保守用機器）	ドイツ	2
1月25日（水）	SC 2/WG 2（道路作業機械－路面清掃車）	ドイツ	3
2月16日（木）	AG 1（諮問グループ）	ドイツ	1

各会議における主な報告事項及び進捗状況は以下の通り：

＜TC 195 建設用機械及び装置＞（幹事国：中国，サポート：ドイツ）

2020年、2021年と中国・鄭州での対面会合を計画したが、いずれもバーチャル開催となった。2022年9月19日～23日に第31回TC 195総会及び国際会議を鄭州で開催予定であったが、長引く移動制限の為に今回も実現せず、9月22日にTC 195バーチャル総会が開催された（写真－1参照）。

＜AG 1 諮問グループ＞（コンビナー国：ドイツ）

2022年6月13日のAG 1バーチャル会議で、同年9月のTC 195総会及び国際会議を全てバーチャル開催とする事が決定された。2023年2月16日にもAG 1バーチャル会議が開催され、本年9月に予定しているTC 195総会及び国際会議を対面会合とするホスト兼幹事国（中国）の強い意向が確認された。ただしSC 1（日本）、SC 2（ドイツ）、SC 3（フランス）各幹事国及び米国の事情もあり、バーチャル又はハイブリッドの可能性も残しつつ現在調整中である。

＜SC 1 コンクリート施工用機械及び装置＞（幹事国：日本）

2022年9月20日にSC 1バーチャル総会を開催した（写真－2参照）。

－ISO/DIS 19711-2トラックミキサー－第2部：安全要求

日本がSC 1/WG 4コンビナー国として推進、2022年5月30日にバーチャルWG会議を開催しCD投票でのコメントにつき審議した後、2022年10月～2023年1月にDIS投票を実施した。

－ISO/FDIS 6085セルフローディングモバイルコンクリートミキサー－安全要求及び検証

イタリアがSC 1/WG 9コンビナー国として推進、2022年7月27日にバーチャルWG会議を開催しDIS投票でのコメントにつき審議した後、2022年11月～2023年1月にFDIS投票を実施した。

－ISO/PWI 5342コンクリート工事用機械－施工現場情報交換

中国がSC 1/WG 8コンビナー国として準備中。TC 127所管のISO 15143シリーズ：土工機械－施工現場情報交換に着想を得た（ICTによる機械の位置情報、バッチ管理、施工データ等の情報共有化・活用を通じてコンクリート製品の品質維持向上を図る）提案であり、国内関係団体（日本コンクリート工学会・全生連・日建連）にも国内委員を委嘱している。2020年にPWIとして登録したが、パンデミックの影響もあり

現在まで殆ど進展がない。

＜SC 2 道路作業機械及び関連機器＞（幹事国：ドイツ）

SC 2/WG 1 冬期保守用機器：コンビナー国：ドイツ

2019年11月21日に第1回WG会議が神戸で開催された後、コンビナー Hanke 氏の退任に伴い2022年4月～5月のCIB投票でRosenstihl氏が後任コンビナーとして指名された。2022年9月13日にバーチャルWG会議が開催され、除雪トラックに関する日本特有の気候・路面条件を（2019年のプレゼン資料を用いて）再度説明した。2023年1月17日に開催されたバーチャルWG会議では、新たにスノープラウ等の用語規格が提案され、JIS A 8511, JCMAS F013, 同 T006, 除雪機械技術ハンドブックで既に定義している除雪機械の用語や分類について日本から紹介した。

SC 2/WG 2 路面清掃車：コンビナー国：ドイツ

2021年11月19日に第3回バーチャルWG会議が開催された後、2022年6月～9月実施のDIS投票結果を受けて9月15日、10月18日、11月28日、2023年1月25日にバーチャルWG会議が開催され、日本コメントについても議論された。



写真－1 TC 195 バーチャル総会風景（2022/9/22）



写真－2 SC 1 バーチャル総会風景（2022/9/20）

< SC 3 穿孔及び基礎工用機械 > (幹事国: フランス)

2022年9月21日にSC 3バーチャル総会が開催された。

SC 3/WG 1 用語及び定義: コンビナー国: フランス

2022年3月1日, 4月6日, 5月16日, 5月18日, 9月14日にバーチャルWG会議が開催された。

– ISO/CD 11886 穿孔及び基礎工用機械 – 土壌及び土壌/岩石穿孔及び基礎工用機械 – 用語及び商業仕様

2022年5月に第3次WDを登録, WGでの確認後, 11月~2023年1月にCD意見照会が実施された。

– ISO/FDIS 21467 穿孔及び基礎工用機械 – 水平方向穿孔 (HDD) 機械 – 用語及び商業仕様

2022年1月~4月にDIS投票を実施, WGでの承認後, 11月~2023年1月にFDIS投票が実施された。

– ISO/NP 20770 穿孔及び基礎工用機器 – 安全 –

第1部: 共通要求

第2部: 土木及びジオテクニカルエンジニアリング, 採石鉱山用モバイルドリルリグ

第3部: 基礎工用機器

第4部: 地中連続壁用機器

第5部: ジェットイング, グラウティング及びインジェクション用機器

第6部: 互換可能な補助機器

2023年2月にNWIP投票が開始され, 本年4月が投票期限となっている。

ISO/CD 11886 用語及び商業仕様の作業が進展した事から, 上述のSC 3バーチャル総会で決議された次なる作業に着手した。EN 16228 シリーズ – 穿孔及び基礎工用機器 – 安全 – の対応するパート (1, 2, 4, 5, 6, 7) をベースにしており, NWIPが承認されれば, SC 3傘下で新たなWGを設置する予定。

< WG 2 用語 > (コンビナー: ドイツ)

2005年~2020年まで休止していたが, Piller氏がWG 2コンビナーに就任後, 2022年9月8日にバーチャルWG会議が開催された。

– ISO 11375 建設用機械及び装置 – 用語及び定義

2022年6月~8月にCIB投票が行われた。ISO 11375は一旦「確認」し, NWIPとして再登録する。新たなISO 11375は他の既存用語規格を参照する。

< WG 5 道路建設及び維持用機器 > (コンビナー: ドイツ)

2022年9月8日にバーチャルWG会議が開催され, 定期見直し投票結果に基づき以下を提言した。

– ISO 15642 道路建設及び維持用機器 – アスファルト混練プラント – 用語及び商業仕様を見直す (Revision)。

– ISO 15689 道路建設及び維持用機器 – 粉末結合材撒布機械 – 用語及び商業仕様を追補 (Amendment) とする。

– ISO 16039 道路建設及び維持用機器 – スリップフォームペーパー及び関連機械 – 用語及び商業仕様を見直す (Revision)。

< WG 9 自走式道路建設用機械 – 安全 > (コンビナー: ドイツ)

– EN ISO/FDIS 20500 自走式道路建設用機械 – 安全 –

第1部: 共通的要求事項

第2部: 路面切削用機械の要求事項

第3部: ソイルスタビライザー及び再生機械の要求事項

第4部: 締固め機械の要求事項

第5部: ペーパー – フィニッシャーの要求事項

第6部: 自走式フィーダーの要求事項

第7部: スリップフォームペーパー及び関連機械の要求事項

これら7件のDIS投票で提出された各国コメント750件+HASコンサルタント*コメント267件に対処する為, 2020年11月(2回), 2021年1月, 2月, 4月, 5月, 8月, 9月, 11月, 2022年2月, 3月の計11回にわたり国際バーチャルWG会議が開催された(各回3 hours/日×3日連続のWeb会議=延べ99 hours)。更に7月28日にも国際バーチャルWG会議が開催された。FDIS投票開始に向けて準備中。

2020年5月号の神戸国際会議報告以来, 本誌上でのTC 195活動紹介は約3年ぶりとなった。2023年には対面での国際会議が再開できるよう期待しているが, 国際情勢はコロナ以前よりも不安定さを増し, TC 195メンバー各国の複雑な思惑が絡み合っている。実現できれば今後, 報告したい。

*欧州機械指令・騒音指令の整合規格 (Harmonized Standard) を評価する欧州当局の審査員